

# 横流し事件で政策提言へ

## 業界自主基準の策定も

### 全食リ事務連

全国食品リサイクル登録  
再生利用事業者事務連絡会  
(全食リ事務連、高橋巧一  
会長)は、「カレーハウス  
COCO吉番屋」を展開す  
る吉番屋が廃棄を依頼した  
冷凍ビーフカツが不正に転

売された事件を受けて、事  
件の再発防止に向けた食品  
リサイクル業界の対応につ  
いて政策提言の準備に乗り  
出した。会員の意見を集約  
した上で、年度内にも提言  
書を作成し、国に提出する。

評価がポイントになる  
とみられる。

全食リ事務連では、  
食リ制度の見直しに関  
する合同会合で、登録  
再生利用事業者の情報  
公開や、優良業者を差  
別化するマークの付与  
を求める意見があった  
ことを受けて、業界自  
主基準の作成をベース  
にした登録再生利用事  
業者の優良業者評価制  
度を策定する準備を進  
めており、2018年  
度からのモデル事業実  
施を目指している。

提言に向けては、会  
員の登録再生利用事業  
者にアンケートを実施  
して意見を募集し、提  
言に盛り込む内容を精  
査したうえで、2月中  
に「ダイコー事件に関  
する提言書(案)」を取

りまとめる。

事件を起こしたダイ  
コーは、会員ではない  
ものの、食リ制度に基  
づく登録再生利用事業  
者の認定を受けてお  
り、会員企業からは、  
優良な登録事業者が不

適正処理の業者と一緒  
くたにされることを危  
惧する声が上がってい  
る。政策提言では、委  
託先の現地確認など、  
排出事業者責任の観点  
とともに、客観的な判  
断に基づく優良業者の

評価制度では、優良

な業者を育成し、業界  
のポトムアップを目指  
す他、優良業者が定義  
されることで、各地域  
で適正価格の食リ市場  
が形成され、安値取引  
による違法行為の横行  
を未然に防ぐ効果も期  
待している。